



新潟県女性センター情報

令和6年度 女性に対する暴力をなくす運動

新潟ユニゾンプラザ

パープル・ ライトアップ

点灯
期間

令和6年 11月9日(土) ~ 15日(金)

午後5時から午後8時30分まで(展示ブースは終日)

※ 同会場内 展示ブースの展示期間: 11月6日(水)~24日(日)まで

※写真は昨年度のパープルライトアップ・展示ブースの様子(新潟ユニゾンプラザ)

毎年11月12日から25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

女性に対する暴力(配偶者などからの暴力・性暴力・セクハラ・ストーカー等)は、女性の人権を著しく侵害する行為です。この期間中、シンボルカラーであるパープル(紫色)にちなんでライトアップやキャンペーンが全国各地で開催されます。

新潟県女性財団では今年も、パープルリボンの着用を呼びかけるほか、新潟ユニゾンプラザをパープルでライトアップします。

このライトアップには、女性に対しての暴力根絶を広く呼びかけるとともに、被害を受けた方に「一人で悩まずに、まず相談」というメッセージを込めています。また、啓発活動として、同会場内にていがた被害者支援センターと一緒に展示ブースを設置します。



◀ 昨年の展示ブース

話してもいいのかな
自分が悪いと思っていた。
誰にも相談できていなかった。
でも話してみたら、こんなに少し軽くなった気がした。

DVや性暴力の悩み、
受け止めてくれる人がきつという。

話していくこと、聞かせてくれる人が、
あなには何も思わないよ、
これからのことを考えよう。

聞かせてほしいな

年齢・性別を問わず相談できます。

相談時間	相談場所	相談内容	相談料
Care time (休・祝日)	#8891 #8103	DV相談 プラス	#8008

11月12日~25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

【 関連セミナーのご案内 】

完全
オンライン
(Zoom)セミナー

何故DV関係になるのか

～自分達、参加者達を見つめた気付き～

無自覚のDV加害者・DV被害者に焦点をあて、DV加害者・DV被害者の関係であったお二人から、DVをする人の心理・逃げられない人の心理、解決に向けて必要なものなど、事後対策・根本的解決に向けて、実際の経験からお話いただきます。

開催日
11/8 金

時間
14:00 ~ 16:00

参加費
無料

定員
個別参加 | 30名
配信会場 | 50名

先着順・事前申込制



▲申込・詳細は財団HPまで

5市町村で サテライト会場開催決定!



講師紹介

(一社)エフエフピー 代表理事 / 理事
中川 拓さん・亜衣子さん

報告

中学・高校生向け 女性講師によるキャリア支援講座(出前講座)を開催しました

女性財団では、中学・高校生を対象に自分らしい生き方を考え、進路選択の幅を広げてもらうためのキャリア支援講座(出前講座)を実施し、今年で3年目を迎えました。

それぞれの企業で活躍されている講師から、仕事の概要紹介ややりがい、仕事内容がSDGsの達成や社会課題の解決にどのように関わっているか。またどのような進路選択をしてきたかなどについてお話しいただきました。

生徒たちは講師の話に熱心に聞き入り、講演後の質疑の時間では質問をするなど、活発なやりとりがありました。

生徒からは、「起業にいたる経緯を聞き、何を大切にしたいのか本気で考えること・フリーの立場でやっていくことの厳しさや大変さから、働くことについて考えるきっかけになった」「女性が活躍して働く姿を見ることができ嬉しかった」などの感想があり、引き続きこの出前講座を開催し、いろいろな姿、働き方を伝えていきたいと思いました。

■ 今後の予定 / 新潟市内・新潟田市内の中学校で実施予定

2024. 06.27

新潟柳都中学校 (1年生)

協力企業 「はれいろごはん」
(主宰・管理栄養士)



2024. 07.03

江陽中学校 (1年生)

協力企業 旭カーボン(株)



2024. 10.24 / 31

聖籠中学校 (3年生)

協力企業 10/24 | 小柳建設(株)
10/31 | (株)皆川製作所

詳細または
講座希望は
こちら ▶



図書紹介



「声をあげて」

著者 | 五ノ井 里奈 発行 | 小学館

行動を決意した彼女の武器は、「**勇気ひとつ**」。彼女が、失くした尊厳を取り戻すまでの物語は、世界中の人々にとっても、一歩踏み出す勇気となる。

東日本大震災で被災した際に助けてくれた自衛官に憧れ、自衛隊の門をくぐった著者。その純粋な夢を打ち砕いたのは、紛れもない隊内での性暴力であった。

組織の中で口裏を合わせ隠蔽しようとする体質。実名で告発することには大きなリスクがあったにも関わらず、自分が発信することによって、このような事態が2度と繰り返されてほしくないという思いで戦った勇気に感銘を受ける。

性暴力は、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題であり、パープルライトアップ週間に是非手にとっていただきたい1冊です。

編集・発行

公益財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市中央区上所 2-2-2
新潟ユニゾンプラザ 2階/新潟県女性センター



HP



FB



X(旧twitter)

- 電話 025-285-6610
- fax 025-285-6630
- メール npwf@npwf.jp
- ホームページ <https://npwf.jp>
- Facebook 新潟県女性財団
- X(旧twitter) @npwfniigata

【編集後記】

5歳になる娘が「(保育園で)男の子と遊びたくない。」と言います。なんで？と聞くと「○○(自分の名前)は女の子だけの方が楽しい、女の子だけがいい。」とのこと。仕事柄、「性別だけでそんなこと言うのはどうなんだ？」と思いつつ、パパも男だよ？と聞くと「パパは好きだからいい」と笑顔。子育てって難しいけど最高です。(寺の三男坊)